

教科名	保健体育	科目名	保健 (1単位)
使用教科書	新高等保健体育 (大修館)	副教材等	新高等保健ノート (大修館)

1 科目のねらい (目標)

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。
 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝える力を養う。
 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 科目・授業の内容と進め方

I 「現代社会と健康」について
 現代社会はグローバル化が進み、科学技術が発達したことによって、私たちを取り巻く環境も大きく変化し、それに伴い健康の捉え方や健康課題も変化してきた。
 ここでは、多様な健康の考え方、感染症、生活習慣病、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患などの健康課題とそれらへの対策、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた健康を支える社会づくりなどについて学ぶ。

II 「安全な社会生活」について
 事故や自然災害はいつ起こるか予測がつかず、その規模も様々なため、安全に関しては日頃の個人的な取り組みに加え、社会全体でも対策を進めていく必要がある。
 ここでは、事故やけがの発生メカニズムや発生リスクを減らす方法を学び、それらが起きた場合の対処法について実習などを通して技能を身につけるとともに、環境整備、地域の連携など、安全な社会の形成について学ぶ。

3 学習の方法

- 教科書に書かれている内容について、できるだけ具体的で身近な内容としてとらえることが大切です。インターネットや新聞記事などでの調べ学習も必要です。
- 「新高等保健体育ノート」の記入を確実にを行い、理解を深めます。ノートは黒板に書かれていることを写すだけでなく、自分の考えや大切だと思われることをしっかり記録することができるようにする。

4 課題・補習について

- 副教材の「新高等保健体育ノート」の点検を随時行います。
- 必要な場合には、課題の提出を求めます。

5 観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
健康の考え方、成り立ちを深く理解するとともに、生活習慣病や感染症、飲酒、喫煙など自らを取り巻く健康問題について深く理解するとともに、得た知識を自らの生活に活かすことができる。	生涯にわたって健康を維持または増進するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	グループワークなどを通し、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとしている。日々変化する健康問題に興味・関心を抱き、それに対して柔軟な対応ができる。

ビジネス情報科・ビジネス科 1年A・B・C・D組

教科名	保健体育	科目名	保健	(1単位)
-----	------	-----	----	-------

6 年間の学習計画

月	単元名	教材	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	現代社会と健康	1 日本における健康課題の変遷	健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。また、健康の考え方がどのように変化してきたかを理解し、ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性について考えることができる。健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて考え、感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。また、性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて考え、身体活動・運動、食事、休養・睡眠と健康の関係について理解する。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 (調べ学習)
5		2 健康の考え方と成り立ち		
6		3 ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり		
7		4 健康に関する意思決定・行動選択		
8		5 現代における感染症の問題		
9		6 感染症の予防		
10		7 性感染症・エイズとその予防		
11		8 生活習慣病の予防と回復		
12		9 身体活動・運動と健康		
1	安全な社会生活	10 食事と健康	がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。喫煙・飲酒による健康への影響について理解する。薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。代表的な精神疾患の特徴や症状、精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 (調べ学習)
2		11 休養・睡眠と健康		
3		12 がんの予防と回復		
4		13 喫煙と健康		
5		14 飲酒と健康		
6		15 薬物乱用と健康		
7	安全な社会生活	16 精神疾患の特徴	様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。交通事故には補償など法的責任が生じることを理解する。安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解し、できるようにする。日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 (調べ学習)
8		17 精神疾患への対応		
9		1 事故の現状と発生要因		
10	安全な社会生活	2 交通事故防止の取り組み	安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解し、できるようにする。日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 (調べ学習)
11		3 安全な社会の形成		
12		4 応急手当の意義と救急医療体制		
1	安全な社会生活	5 心肺蘇生法	安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解し、できるようにする。日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	行動観察 挙手・発言 ノート確認 (調べ学習)
2		6 日常的な応急手当		
3				

前期期末考査

学年末考査